くすり百年匠（たくみ）通信

成光は独自の薬を創る伝統があります
成光薬品工業株式会社
〒635-0834 奈良県北葛城郡広陵町大塚739
TEL 0745-55-0044 FAX 0745-55-5265
URL http://www.asm.ne.jp/~seikou/

理念

○漢方薬医薬品の販売は、一人一人の人間をじかに救う事ができる神の御業である
○中身は日本一、天下一、神に捧げる品也
○人を育てるとは、天に通じる心をみがく事にある

雑煮様
明治時代の版木より

特集 かぜ！相談下さいね!!

かぜ対策は先手必勝！相談下さい！本当によく効く成光のかぜ対策三原則を紹介します。

かぜによる発熱・鼻水・咳などは身体の防御反応です。薬ですぐに止めてしまうより、少し我慢すると体に免疫ができ、抵抗力がつく。栄養のある食事をし、水分を摂って、体を休ませていれば大丈夫だという認識が最近の一般論です。しかし本当にそれだけで大丈夫なのでしょうか？

確かに休養、栄養・水分補給は間違いではありません。しかし「かぜをひいた」からと、二～三日仕事や学校を休んで休養することはなかなか出来ません。また「夜だけでも十分な睡眠を」と考えても、悪化した症状が安眠を妨げ、いつまでも完治しないという経験はありませんか？昔から、「かぜは万病のもと」という言葉があるように、かぜはこじらせてしまうと、時には気管支炎や肺炎を起こし、生命の危険性さえある病気なのです。かぜをひいた時、自然治癒力だけに頼るのではなく、本来、身体がもつ治癒力を最大に引き出せる成光の薬をプラスした成光独自の対策を紹介します。

かぜはひき始めが勝負。一刻も早い対策が肝心です。かぜかなと感じたら「成光葛根湯」をお飲み下さい。レモンやハチミツを入れ、お湯で割って飲んで頂くと、体を芯まで温めるのと同時にビタミンCの補給にもなります。漢方生薬ですので胃腸に優しく、空腹時や運転前など時間を選ばず飲んで頂けます。

いよいよ、かぜにかかってしまった時は、普段の体力を維持することが必要。そのために睡眠が大切だというのは、言うまでもありません。就寝時、「リートンカプセル」お子様は「かぜ童風」をお飲み下さい。両者共に素早く効果を発揮し、不快な症状を緩和するため、じっくりと睡眠していただけます。安眠出来ることで体力が戻り、かぜに対する抵抗力がつくのです。また食事の際、消化が良いものと考え、おかゆやうどんを食べる人が多いと思います。しかしそれらは、余り噛まずに食べてしまうため、意外と胃に負担をかけているのです。胃への負担が軽く、十分な栄養補給をしたい時には「アカシカローヤル」が最適です。低カロリーなので、どなた様にもお気軽に飲んで頂けます。かぜは悪化させないことが重要です。だからといって薬で強引に病状を抑えてしまうのもよくありません。

病状を悪化させずに、成光の薬で自己の持つ抵抗力を最大限に引き出して病気を治していく。成光の薬は匠の知恵が凝集された逸品なのです。

かぜとは？

かぜは正式に「かぜ症候群」「かぜ疾患群」と言い、呼吸器系急性炎症の総称です。原因の多くはウイルスで、その他に溶血性連鎖球菌や肺炎球菌などの細菌、マイコプラズマやクラミジアもあります。

リートンカプセル

リートン飲んで、よく寝て下さい！

明日の仕事は休めない。体をゆっくり休めたいのに咳や鼻水など不快な症状が邪魔をして安眠できない。そんな時には、即効性の風邪薬リートンカプセル！抗ヒスタミン剤（トリプロリジン塩酸塩）が素早く効果を発揮し、不快な症状を緩和、安眠を促します。部屋を高湿度に保ち（できなければマスクをするだけでも鼻と口を高湿度に保てます）暖かくしてゆっくりお休み下さい。朝スッキリ目覚めます。

カッコン湯エキス顆粒

かぜの初期には、すぐカッコン湯です！

かぜのひき始めで比較的体力はあるが、発熱・頭痛・寒気・うなじや肩に、こりや緊張を感じる。又、汗をかいていないということが適応です。慢性病に使用するときは、発熱・頭痛・寒気の症状がなくてもかまいません。うなじや肩のこりを転用して、体表部の緊張に応用し、化膿症、皮膚炎や湿疹などにも効果的です。成光の葛根湯はエキス顆粒です。お湯に溶かして温服して下さい。

成光薬品の相談窓口 情報

Q（相談）
元々胃腸が弱く、薬を飲むと胃が痛みます。咳も出て普段は頭痛持ちです。現在、風邪をひいてしまったのですが、飲む薬はリートンでいいですか？

A（回答）
リートンカプセルでいいですが、まず胃腸を丈夫にする必要があります。コタンを毎日続けて飲んで下さい。咳にはエフニン、頭痛持ちということですが、スグチンAがよく効きますよ。

このように、成光薬品では相談窓口を開設しております。お電話の際は『相談窓口お願いします』と、お気軽にお申し付け下さい。

相談窓口 **0745(55)0044**
受付時間　10時～17時（土・日・祝を除く）
相談窓口担当者　管理薬剤師　小原（おばら）　喜博（よしひろ）

「成光」かぜ薬体験の声

◆ 就寝前、熱があった。リートンを飲んで寝ると、ぐっすり眠れて朝には熱も下がり体のダルさもなくなっていた。（二十九歳　男性）

◆ 毎朝、カッコン湯とアカシカローヤルを飲んでいます。気が付けば、ここ数年全然かぜを引いていません。（三十七歳　男性）

◆ 試験前の深夜まで続く勉強で、寝不足のため体調を崩しかけていた時に、目覚ましのコーヒーをカッコン湯に代えてみたところ、頭スッキリ、疲労感まで解消された気がする。今ではコーヒー代わりに重宝しています。（二十二歳　男性）

◆ のどが痛く、セキも止まらずに苦しんでいた時に、エフニンを服用。驚くほどピタッとセキが止まり、かすれていた声も元通りに。さらには鼻づまりもなくなっていました。（五十歳　男性）

◆ 肩こりがひどく頭痛まであったのが、薦められたカッコン湯を飲むと、首筋から背中にかけての重みが嘘のようになくなり、体が軽くなった気がする。（五十六歳　女性）

◆ 子供がかぜを引くと必ず童風を飲ませます。甘い味だからか嫌がりませんし、牛黄配合なのでよく効きます。（三十二歳　女性）